

怒りを糧に更なる団結強化で、しっかり対決していこう！ 尾崎副委員長に対する東京駅不当配転抗議集会を開催！！

1月30日、京橋区民館において尾崎副委員長に対する東京駅不当配転抗議集会を開催し、不当な再教育と強引な強制配転に対して怒りを共有し、攻撃に屈することなく更なる団結の強化を図り、反撃していく事を全体で確認しました。

デタラメな再教育 … 初めから不合格のレールが敷かれていた。

そもそも、発生した事象が再教育の対象たる内容なのか？という事がまず問題としてあげられます。この事象に関しての「掲示」は出されていません。しかしながら、尾崎さんに対しては「大変な問題である」と、ことさら事象を大きく取り上げ、「再教育」を強引に押し付けてきたわけです。でも、会社として掲示化していないという事は、つまるところ「さほど問題とはならない事象・できない事象」なんではないでしょうか？

また、これはもう今に始まった話ではありませんが、試験そのものがいかにデタラメで、恣意的な採点操作が行われているかという事です。削除されている規程文が出題されていたり、見極めを含めて試験の1回目・2回目が66%（点）と3回連続するあたり、あと一步というところで期待させながら、最後には問題の傾向をガラッと変える。つまりは、合格させないという意図がはっきりとみてとれます。

専任社員の満期を目前に控え …

尾崎さんはこの7月に専任社員としての任期満了を迎えます。あと半年という時期にある尾崎さんに対して、この強引な配転攻撃を仕掛けてくる会社にあらためて強い怒りを覚えます。

斉藤書記長に対する「酒気帯びデッチ上げ」から間もなく一年が経過します。「報復処分撤回裁判」も2月8日の第4回口頭弁論を経て、私たちはいよいよ法廷での具体的な闘いを展開する重要な時期を迎えようとしています。このタイミングにおいて、特にこれまで職場の闘いの常に中心で私たちをリードし続けてくれた尾崎副委員長を職場から放逐することで、私たちを揺さぶり組織の弱体化と闘いの妨害を狙ったものであると言えます。

怒りを糧にして …

このような会社の思惑を跳ね返すために、私たちは怒りを糧に更なる団結の強化を図り、日常の職場の闘いととも報復処分撤回裁判勝利を目指し、取り組みを進めていきます！